



二十六聖人

日本二十六聖人殉教者



四助
聖ペトロ助四郎

3、殉教者の世話をしようと京都のオルガンティノ神父から派遣されたが、途中自分も縄を受け受刑者の一人に。京都生まれ。

日本二十六聖人殉教者



小崎
聖ミカエル小崎

4、弓矢師。宣教師の説教を聞き信仰の道へ。フランシスコ会第三会に入会。息子トマスと共に殉教。46歳。伊勢生まれ。

今月の巻頭言は… 4月21日に助祭叙階されたナン助祭が、助祭の職務として一般信徒向けに初めて書かれた「お説教」を掲載いたします。また、7ページには助祭叙階式についてのインタビューも掲載しています。

巻頭言：希望のとびらが開かれた

今日は主の昇天の祭日です。

主の昇天はキリストが死んで3日目に復活し、40日目に天に昇ったことを記念します。また、主の昇天は、キリストが天に昇り、神の右の座に着いたということ、人間として神の栄光の状態に上げられ、また御父のもとで最高の権威に参与されたことを意味します。

キリストの昇天が私たちの昇天の原型であり、保証でもあります。それで私たちは、私たちに先駆けて天の栄光に入られたキリストに倣って、いつか彼とともに天国に入ることができるという希望のうちにこの出来事を祝うのです。

さて、ただ今読まれた福音箇所の中にこの主の昇天という出来事が明らかに描かれています。復活された「主イエスは、弟子たちに話した後、天に上げられ、神の右の座に着かれた」（マルコ16・19）と。

主イエスはまた、ご自分の弟子から遠く離れてしまうように見えますね。

皆さん、ご一緒に思い出しましょう。三年間イエスに従って、共に生活していた弟子たちは自分たちの師匠であるイエスの受難と死を前にしたとき、みな非常に恐れて、ちりぢりになり、それぞれの日常生活に戻っていきうとしました。しかし、まことに死なれ、そして復活されたイエスがさまざまな場面で弟子たちに現れて、彼らを慰め、力づけてくださいました。ところが、彼らが力づけられたばかりにもかかわらずイエスはまた、彼らから離れてゆかれ、天という遠いところに行かれてしまいました。

皆さん、どう思いますか。その時の弟子たちの気持ち、その時の弟子たちの思いを。

この出来事を前にして誰より一番寂しいと思った人々は弟子たちでしょう。それは当たり前です。しかし、「世の終わりまでいつもあなたがたと共にいる」（マタイ28・20）と約束されたイエスは彼らを慰め、力づけてくださり、また、弁護者である聖霊を送ってくださったので、彼らはずっと寂しい状態であり続けたわけではありません、むしろ、元気を出して「出かけて行って、至るところで宣教した」（マルコ16・20）。弱さではなく強さに、寂しさではなく喜びに、恐れではなく勇気に満ち溢れたものとして弟子たちは「エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、イエスの証人」（使徒言行録1・8）となりました。なぜなら、天に昇られたイエスは弟子たちから遠く離れたように見えますが、実は天に昇られたことによってイエスは彼らのより近くにおられ、彼らと共に働かれるようになったからです。こう書いてあります。「主イエスは、弟子たちに話した後、天に上げられ、神の右の座に着かれた。一方、弟子たちは出かけて行って、至るところで宣教した。主は彼らと共に働き、彼らの語る言葉が真実であることを、それに伴うしるしによってはっきりとお示しになった」（マルコ16・19-20）のです。したがって、弟子たちは困難や迫害をものともせずにいのちまでかけて「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」（マルコ16・15）

というイエスの命令を果たしてきました。そのおかげで、今日の私たち、そしてこの全世界にイエスの福音が伝えられているということは間違いないでしょう。

ところで、主の昇天を祝っている私たち一人ひとりにとって主の昇天はどんな出来事なのでしょうか。私たちの人生にどんな意味があるのでしょうか。

主の昇天はただ歴史的な出来事ではありません。キリスト者である私たちが、神への信仰をより強めるために起こった出来事なのです。「キリストの昇天が私たちの昇天の原型であり、保証でもある」からです。主の昇天によって、すなわち復活された主キリストが天に上げられ、神の右の座に着かれたことによってこそ私たちに希望の扉が開かれました。つまり、アダムが罪を犯したことで閉じられた扉が開かれ、死ぬべき体をもつ私たちにいのちへの扉が開かれ、失望に陥っている私たちに希望の扉が開かれたのです。「この希望の力によって、わたしたちは現在に立ち向かうことができる」（ベネディクト 16 世、回勅『希望による救い』1）とベネディクト 16 世教皇様は述べられました。

天に昇られたキリストは私たちから遠く離れているわけではありません。私たちと共におられ、私たちの中にいてくださり、私たちとより密接に結ばれ、一致してくださるのです。そして弟子たちと同じように、私たち一人ひとり、誰もが福音宣教に派遣され、出かけていくのです。この使命は性別、年齢、国籍などを問わず誰もが授かっています。

「ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を福音宣教者、ある人を牧者、教師とされたのです。こうして、聖なる者たちは奉仕の業に適した者とされ、キリストの体を造り上げてゆく」（エフェソ 4・11-12）のです。

皆さん、私たちの神は遠いところにある神ではありません。第 2 朗読のエフェソの教会への手紙では次のように述べています。「すべてのものの父である神は唯一であって、すべてのものの上にあり、すべてのものを通して働き、すべてのものの内におられます」（エフェソ 4・6）と。神は常に私たちと共におられます。特に、みことばとご聖体を通して、私たちのところにとどまり、私たちの中に入り、共にいてくださるのです。

よくご存知だと思いますが、世界中のあちこちで、激しい戦争や暴力が起こっています。犠牲となった人々、苦しみにある人々、恐怖や不安の中での生活を強いられている人々、絶望にあえぐ人々が数え切れないほど多くおられます。このような今日の世界は「希望」というキリスト教的な徳を、大いに必要としています。希望と喜びに満ちた者として私たちはこの世界に出かけていくように派遣されています。

み言葉とご聖体に強められた私たちが勇気をもって希望を届ける者となることができますように祈り続けて参りましょう。

ペトロ ホアン ドウック ナン助祭



2024年5月
(5月12日開催)

【検討事項】

1. 叙階お祝いパーティーを6/9(日)に行います。準備をマリア会パーティー系の皆さんにお願いしています。
2. 10時ミサのとき玄関で挨拶や案内を行う玄関当番や玄関ボランティアがミサに集中できるように次のとおり決めました。
 - ・アレルヤ唱(福音書朗読の直前)が始まったら聖堂内のロビーが見える場所へ移動する。
 - ・遅れてミサに来られた方への対応は出来るだけ手早く簡略に行う。
 - ・アレルヤ唱の後はロビーに人がいないので、親は子供の見守りをしっかり行う。
3. 皆さんにご協力いただいたバザー・アンケートの集計結果を検討しました。予想外に年齢による意識差が大きく、みんなが教会のバザーに対する理解を深めながらバザー・コンセプトを作るにはかなり時間がかかりそうです。教会委員会で検討を続ける予定です。
4. 第三地区宣教司牧委員会の要請を受け、三つの部門の当教会担当者を決めました。祈る力を育てる部門：A. N. 信仰を伝える力を育てる部門：O. Y. 神の愛を証しする力を育てる部門：O. M. の三名です。
5. 教区懇談会費用などを賄うため、第三地区宣教司牧委員会(当教会を含め近隣七

教会が宣教司牧について話し合う委員会)に20,000円を支出します。

6. 「名簿類管理規程」を改正しました。当教会が管理するメーリングリストの管理方法を一部変更します。なお、普段の教会活動への影響はありません。
7. 「さらなる交わりの教会をめざして…ともに歩いていくために」をテーマに、交わりを阻害しているものは何か、それを打開していくためには何が必要か、をフリーディスカッション形式で話し合いました。

「教会学校の親たちや卒業生がそのような立場で交われる場が少ない。」「何かが交わりを阻害しているというより、交わりの種が少ない。」「交わりたいという動機付けを共有することが必要」などの意見がありました。

【報告事項】

1. 事務員のKさんが5/20を以って退職されます。現在、常任委員中心にチームを立ち上げて引継ぎを行っています。香西さん作成の業務手順書をもとに初心者向けマニュアル作りをしている最中です。当面のあいだ事務所を開けている日や業務時間が大幅に減少する見込みです。出来るだけ事務所の開いている日を増やすように努めています。

2. 典礼委員会

ミサ中での意向

受付できるミサ

：主日(土) 17:00 ミサ(祭日もできます)

：主日(日) 7:00 ミサ(祭日もできます)

：週日(火曜～土曜) 10:00 ミサ

受付できないミサ：主日(日) 10:00 ミサ

：祭日にあたる週日のミサ

3. 教会学校

- ・6/16 教会学校で、6/30 ポリビアデーに向けてマリア会ポリビア支援グループの方から子どもたちがお話しを聞く機会を設けます。
- ・6/2の10時ミサ（子どもミサ）で初聖体を行います。
- ・8/3（土）10時～15時に夏休みお楽しみ会を予定しています。
- ・簡単に使えるプロジェクタ、スクリーンを購入準備中です。

4. キリスト教講座

- ・5月26日（日）10時ミサ後に「新信徒の集い」を行います。
- ・入門講座に3名の応募がありました。第1回講座は5月25日に変更します。

5. 広報委員会

- ・姜神父様叙階30周年（7月）をお祝いしながら自分たちの召命についての記事を5/26から募集する予定です。

6. 共同墓地委員会

- ・共同墓地生前予約1名、共同墓地申込（納骨）1名を受付けました。

7. ヨゼフ会

- ・6/22～23に練成会を予定しています。
- ・5/19「わかちあいたいかい」後にコーヒーを提供する予定です。

8. マリア会

- ・マリア会運営委員会
4/9、5/9 会議 5/31 第6回マリア会の日
映画鑑賞「あん」希望者にワンコインランチ
30 食用意

・アンナ会

- 4/8、4/22に活動 5/13、5/27に活動予定
- ・ステラマリス帽子を編む会
4/19、4/25に活動 5/17、5/23に活動予定
- ・ポリビア支援グループ
4/14、5/12「のんびり日曜日」実施
5/15 会議予定

9. 青年会

- ・4/21 助祭叙階式にあたり、青年や子どもたちからお祝いの色紙をお渡ししました。
- ・5/19に教会全体で「わかちあいたいかい」を行います。テーマは「“ともに歩む”教会ってなんだろう」で、シノドスの説明に沿って分かち合う予定です。
- ・8/17～18に二俣川教会を会場として第三地区の中高生とともに合宿をおこなえるよう企画中です。

10. 一粒会

- ・梅村司教様、司教叙階25年（銀祝）
5/11 お祝いの霊的花束とお祝いメッセージ（青年会作成）をお渡ししました。
- ・第56回一粒会大会（10/14 於：松本教会）参加人数は1地区5名までとなるので、参加者を第三地区にて調整します。

以上



皆で祈りましょう！

2025年聖年への準備として2024年を「祈りの年」とするよう、今年1月21日に
教皇フランシスコより呼びかけがありました。

聖年の祈り

てん ちち
天の父よ、
あなたは、わたしたちの兄弟、御子イエスにおいて信仰を与え、
せいれい こところ あい ほのお も あ
聖霊によってわたしたちの心に愛の炎を燃え上がらせてくださいました。
しんこう あい かみ くに おとず ま のぞ しゆくふく み きぼう
この信仰と愛によって、神の国の訪れを待ち望む、祝福に満ちた希望が、
わたしたちのうちに呼び覚まされますように。

めぐ
あなたの恵みによって、わたしたちが、
ふくいん たね そだ もの か
福音の種をたゆまず育てる者へと変えられますように。
たね あたらし てん あたらし ちへ たし きたい
この種によって、新しい天と新しい地への確かな期待をもって、
じんるい ゆた せいちよう
人類とすべてのものが豊かに成長していきますように。
あく ちから う はら えいこう えいえん ひか かがや
そのとき、悪の力は打ち払われ、あなたの栄光が永遠に光り輝きます。

せいねん めぐ きぼう じゅんれいしや
聖年の恵みによって、希望の巡礼者であるわたしたちのうちに、
てん たから よ き
天の宝へのあこがれが呼び覚まされ、
ぬし よろこ へいわ ぜんせかい ゆ わた
あがない主の喜びと平和が全世界に行き渡りますように。
えいえん かみ
永遠にほめたたえられる神であるあなたに、
えいこう さんび よよ
栄光と賛美が世々とこしえにありますように。

アーメン。

教皇フランシスコ

(『2025年聖年 2024年「祈りの年」聖年に向けた準備のために』カトリック中央協議会 HP より)

梅村司教様、司教叙階 25周年〔銀祝〕おめでとうございます！！

5月15日、私たち横浜教区の教区長、ラファエル梅村昌弘司教様が銀祝を迎えられました。
教区一粒会からの呼びかけで、たくさんの祈り(霊的花束)と、青年や青年を支える方々の協力で
作成したお祝いメッセージをお贈りすることができました。父である神様がこれからも司教
様のすべての司牧活動を祝福してくださいませようお祈りいたしましょう。

ナン助祭にインタビュー！

4月21日に助祭叙階のお恵みを受けられた、ナン助祭に今のお気持ちをお聞きしました。

質問① ナン助祭自身の助祭叙階式を終えての感想、想いを聞かせてください。

この度、私の助祭叙階式にご参加、またお祈りくださり、心から感謝いたします。本当に喜びが満ち溢れた素晴らしい叙階式でした。神からの大きな恵みと祝福を、そして多くの方々にお祝いなどもいただきました。みんなが共に喜んでくださいましたので、とても嬉しかったです。助祭になって一か月が経ちました。助祭として生活は心配やら嬉しいやらで、自分でも分からない複雑な気持ちです。それは、助祭という貴い身分をいただいた自分がどのようにこの職務を果たせるのか、自分にはできるのか、などという心配からです。しかし、助祭として主の食卓で奉仕できることはとても大きな喜びでもあります。まだまだ慣れず、緊張感がみなぎっていますが、助祭として祭壇で奉仕する度に今まで体験したことのない嬉しい気持ちを感じています。

質問② 来日されたお父様はどんな感想をお持ちでしたか？

そうですね。この間、父と弟が来日して、私の助祭叙階式に参加してくださいました。実は弟は2年間ほど日本に留学したことがありましたが、父は日本にも外国にも行ったことがなかったので、弟と一緒にないと行きたくないというくらい不安を抱いていたそうです。しかし、日本に来て、梅村司教様をはじめ、神父様方、そして信徒の方々があたたかい心で迎えてくださいましたので、とても嬉しく思ったようです。叙階式では、日本語が全然わからない中でも、大きな喜びと感動のあまり、幸せな涙がこぼれそうになったようです。姜神父様と信者の皆様に「心から感謝致します」と言っていました。

質問③ これからの1年、助祭として神様から一番いただきたいお恵みはなんですか？

神学院での6年間の養成期間が終わろうとしています。今まで学んだことの締めくくりとしてまとめの段階に入るとともに、司祭叙階へ向けてよい準備ができますように、祈りの生活のリズムを保ちながら励んでいきたいと思っています。

(写真 1, 2, 3)

来たる6月9日、ナン助祭は二俣川教会に帰って来られ、二俣川教会でははじめてとなる助祭奉仕をしていただきます。10時ミサの後にはお祝いのパーティーも予定されています。皆さん、ご参加ください。

〔寄稿募集〕「あなたにとって“召命”とは？」を考えてみませんか

来たる7月13日、姜神父様は司祭叙階30周年を迎えられます。神父様の司祭としての30回目のお誕生日をお祝いしながら、私たち自身の『召命』について思い起こしたり、考えてみるのはいかがでしょうか？そして是非、分かち合ってください。

募集内容：神様が望まれる自分の“召命”は何でしょうか？

文字数：ひとこと～50字程度まででお願いします。

募集期間：6月1日(土)～6月16日(日)

寄稿方法：広報委員会ご意見箱(教会ロビー設置のもの)、または
下記の広報委員会メールアドレスへ送ってください。

koho-new@futamatagawa-cc.com

掲載方法：7月号の『二十六聖人』誌面に掲載します。寄稿者名は載せません。



聖書100週間修了者の皆さんへ

聖書100週間50周年記念ミサと講演会のご案内

1974年から始められた聖書100週間は、今年50周年を迎えます。

聖書100週間がここまで続けられたことと、この運動が世界に広がったことを神に感謝するため、50周年記念ミサが捧げられますのでご案内致します。

●開催日時・場所

日時：2024年7月10日(水)

場所：カトリック麴町聖イグナチオ教会
マリア聖堂

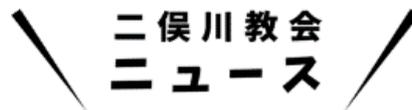
●スケジュール

講演：14:30～15:20 柗暁生神父(マリア会)

休憩：15:20～16:00

ミサ：16:00～17:15 高見三明名誉大司教司式

※講演会へは無料で参加できます。



●5月19日にわかちあいたいかが行われました。70名ほどが参加しました(内、子どもたちが10名ほど)。青年会が小さなお子さんのいる保護者の方々、そして外国籍の方々にも細かく配慮しながら準備をし、当日は10名ほどのサポーターもそれぞれの役目を果たしたおかげで、心豊かな時間が持てたのではないのでしょうか。感想文も無理のない範囲でお願いできましたので、来月号の誌面でご紹介する予定です。

●6月30日(日)にボリビア支援グループが久しぶりに“ボリビアディ”を開催いたします。どうぞ皆さまお楽しみにお待ちください。

5月号の「二十六聖人」より、これまで教会学校の子どもたちや保護者の皆さん向けに発行されていた「きょうかいがっこうだより」を本誌に掲載することとなりました。共同体全体で生き生きとした子どもたちの様子を知り、見守り、共に育んでいく助けとなりましたら幸いです。(広報委員会)

きょうかいがっこうだより

カトリックニ俣川教会 教会学校

2024年6月

【6月～8月の予定】

- ・6月2日 <キリストの聖体> クラス・初聖体クラス(子どもミサの中で初聖体)
- ・6月9日 侍者会(初聖体クラスの親子は参加しましょう)
- ・6月16日 クラス(ポリビアのお話)
- ・7月7日 クラス
- ・7月21日 教会学校1学期終業
- ・8月3日(土) 夏休みお楽しみ会
- ・8月17(土)、18日(日) ニ俣川教会主催 第3地区対象中高生合宿

【お知らせ】4月号より「きょうかいがっこうだより」は保護者会のラインにてお知らせしています。

* 8月3日 10時～15時の予定で夏休みお楽しみ会を計画しています。

水遊びやクラフト、簡単なクッキングをしてお昼ごはんをいっしょに食べるなど、楽しい企画を考えています。



● こんにちは!幼児クラスです

教会学校の幼児クラスは、3歳から小学校入学前までの6歳の子どもたちのクラスです。

子どもたちはおうちの方といっしょに2階のロビーに集まり、他のクラスより少しゆっくり9時15分からのスタートです。まだ3歳になっていないきょうだいもいっしょに参加すると、総勢15名ほどになることもあり、楽しくお勉強しています。

クラスの始まりには「主の祈り」、終わりには「アヴェ・マリアの祈り」をいっしょに唱えています。1年の終わりにみんな十字を切るのもお祈りを唱えるのも、とても上手になります。

子どもたちがこれからも神さまといっしょに歩むことができますようお祈りと支えをお願いいたします。



ドラえもんバスケットは、
子どもたちに大人気



出席カードにシールを貼ったら、ミサへ

● わかちあいたいかい 5月19日

おうちの方が「わかちあいたいかい」へ参加している間、子どもたちも親子室で軽食を食べ、ぬりえやおりがみ、絵本の読みきかせ、歌を歌ったりしながら交流を深めました。



木々の緑が美しい季節になりました。

いつもマリア会活動にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。

今月は和菓子『小豆ういろう』、レンジで作る簡単レシピをお伝えします。

作り方

1. ボウルに上新粉・片栗粉・砂糖を入れ、そこに分量の水を加え、たまにならないよう、よく混ぜる。
2. 1に粒あんを加え、軽く混ぜる。
3. レンジ対応の耐熱容器にラップを敷き、2を流し入れる。
4. 3に軽くラップをしてレンジ「600W」で5分30～6分加熱する。
(レンジの中性能により加熱に差がありますので様子を見て加減して下さい。)
5. 粗熱がとれたら、冷蔵庫で冷やす。
6. ラップのまま容器から取り出し、ラップのついている底面が上になるようにして、好みの大きさに切り分ける。
(切る際には包丁を水で濡らしてから切るとくっつきにくいです。)

＜材料＞

上新粉 80g
片栗粉 20g
砂糖 50g
粒あん(缶詰) 150g
水 250cc

電子レンジ対応
耐熱容器
(500ccサイズ位)



1のと3では
たまにならないように
ていねいにかき混ぜて!

新茶と共に、ゆっくりしたティータイムを楽しんではいかがでしょうか?

マリア会 H. I.

広報委員会からのお知らせ

◆本誌『二十六聖人』の表紙、新シリーズについて 皆さまお気づきかと思いますが、『二十六聖人』の表紙リニューアルを行いました。4月号には聖堂の「復活のキリスト」を掲載し、5月号からは、二俣川教会の守護聖人である、日本二十六聖人殉教者の長崎の西坂の丘にあるモニュメントの御像を右からお二人ずつ掲載しています。順番は教会ロビーにある同モニュメントの写真でも見ることができます。

「編集後記」 ある主日のことでした。子どもたちが多く、聖堂も活気のある雰囲気。その子どもたちを周りの方々が優しく見守り、共に主の食卓を囲んでいました。さて平和の挨拶。子どもたちは知っている顔や、自分の目線の合う方々のご挨拶。すると、その小さな肩をトントンとする手。ちょっとビックリ振り返った子に、おじさまはにっこり平和のご挨拶。勿論、驚いたその子もハニカミながらご挨拶。ああ！これが共同体の原点じゃありませんか？温かな交わりを見せて下さった、今ここにおられる神様に感謝！ (Y.O. 記)